

JOY & JOY  
喜びを喜びに

# CSR REPORT 2026 Action

# CSR REPORT 2026



私たちの仕事はその思想もカタチも、  
次代へと繋がり残るものだから  
企業はもちろん全社員が、常に大きな社会的責任を担っています。  
創業以来127年、激動の時代を生き抜き  
着実に成長を遂げてきた背景には  
社会的責任とともに、  
すべてのステークホルダーの皆さまに信頼され、  
満足を感じ喜んでいただけることを  
何よりの喜びと考える企業姿勢が存在しています。  
森組は、社会や環境と共生しつつ、  
皆さまの喜びを喜べる企業として  
堅実にかつ進取的に歩み続けます。

## Action



森組のアクション

- 01 健全な経営
- 02 多彩な事業
- 03 高い品質
- 04 確かな安全
- 05 守りたい環境
- 06 望まれる社会貢献
- 07 責任ある社員育成

## CONTENTS

- 03 トップメッセージ
- 05 健全な経営  
経営理念／コーポレートスローガン／経営方針／  
行動規範／コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス／  
リスクマネジメント／BCP「事業継続計画」の策定
- 11 多彩な事業  
建築事業／土木事業／リニューアル事業／  
魅力あるまちづくり
- 15 高い品質  
ISO 9001の取得／品質目標の取組状況／  
優良工事の表彰／新工法の紹介
- 17 確かな安全  
安全衛生方針／  
労働安全衛生マネジメントシステム(ISO45001)／  
安全衛生活動の取り組み／  
協力会社との連携(MOST会)／MOST会各部会の活動／  
経営層パトロール／けんせつ小町パトロール
- 21 守りたい環境  
環境方針／ISO 14001の取得／環境目標の取組状況／  
電子マニフェスト普及率
- 23 望まれる社会貢献  
災害復旧への貢献／緊急資材の配備／  
太陽光発電を利用した現場の脱炭素の取り組み／  
現場見学会・地域社会への貢献／SDGsに対する取り組み
- 27 責任ある社員育成  
森組の人財育成に関する取り組み／  
森組の採用に関する取り組み／  
森組の働きがいに関する取り組み
- 31 MORIGUMI CORPORATE DATA  
会社概要／組織図／主な取引先／IR情報／沿革／  
事業所一覧

### 編集にあたって…

森組のCSRへの考え方や活動について、  
できる限り簡潔に表現し、わかりやすい誌面  
づくりに努めました。このレポートが、ステーク  
ホルダーの皆さまと森組とのコミュニケー  
ションを図るツールとなれば幸いです。皆さま  
が「森組について知りたいこと」、森組が  
「皆さまへ伝えたいこと」を、このレポートにて  
お届けしたいと考えています。

### 対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日  
(一部対象期間以前、もしくは以後直近の活動  
内容も含まれています)

### 更新

2026年7月1日

株式会社 森組 CSR統括部  
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17  
TEL:06-6222-5094 FAX:06-7732-4996  
URL:https://www.morigumi.co.jp

※SDGsとは

2015年に国連で採択された  
2030年までの人類と地球の繁  
栄のための行動計画で、17の  
ゴールと169のターゲットから  
構成されています。本冊子では、  
当社の取組でSDGs達成に寄与  
している主なゴールをアクセシ  
ョン毎に明示しています。



# Top Message

トップメッセージ



「伝統を守るだけでなく、  
未来を創る企業でありたい。」  
社会と環境に寄り添い、  
ものづくりの力で暮らしを支え、  
森が命を育むように  
持続可能な価値を  
生み続ける企業へ。

代表取締役社長  
内山 浩二



## 【はじめに】

森組は、1899年(明治32年)、奈良県での鉄道敷設工事への参画を原点に歩みを始め、2026年6月に創業127年を迎えました。一世紀を超える歳月の中で、先人たちは幾度となく訪れる困難に真正面から向き合い、そのたびに挑戦を重ね、今日の森組を築き上げてきました。

そこに息づくのは、単なる歴史でも形式的な伝統でもありません。社会のために働くことへの誇り、困難から決して逃げない誠実さ、仲間を信じ抜き技術を磨き続ける意志——それらが重なり合い、いまも私たちの中に力強く流れています。

そして今、その重みを受け止める私たちは、「この歴史を未来へつなぐのは自分たちである」という覚悟を持っています。森組は、過去に支えられるだけの企業ではありません。未来を切り拓く主体として、新たな価値を創り続けてまいります。

## 【2026年3月期の振り返り】

当期は、自然災害への対応や老朽化インフラの更新需要、堅調な民間投資に支えられ、事業環境は底堅く推移しました。その中で私たちは、高速道路、集合住宅、施設改修、官公庁案件といった強みを活かし、着実に受注を重ねてきました。さらに、旭化成ホームズ株式会社との連携を軸として、新たな顧客との接点も着実に広がっています。一方で、世界情勢の不安定化は長期化し、資材価格の高騰や供給制約、労務費の上昇が重なり、経営環境は厳しさを増しています。しかし、こうした局面こそが企業の真価を問う場であると私たちは捉えています。一つひとつの課題に真正面から向き合い、ぶれることなく対応を積み重ねていきます。

## 【中長期モデル「MGBP」について】

当社は現在、中長期戦略プログラム「Morigumi Branding Plan (MGBP)」を推進しています。その目的は、「魅力あふれる森組ブランドの確立」です。私たちが目指すブランド価値は、次の3点に集約されます。

1. 地域社会に必要とされる企業であること
  2. 役職員が“やりがい”と“誇り”を持ち、安心して働ける企業であること
  3. 高収益体質と強固な財務基盤を備え、選ばれる企業であること
- この理念のもと、当社は多様な取り組みを展開しています。

### ■ 信頼できるパートナーと共に、サステナブルな社会を築く

127年にわたり築いてきた財産は、建設構造物といった「かたちある成果」だけではありません。長年にわたりお客様と築いてきた「信頼関係」という無形の財産もまた、当社の大きな強みです。この信頼をさらに強化・発展させるとともに、環境や地域社会に配慮した事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### ■ 伝統を受け継ぎながら、新たな現場管理を実現する

当社が高く評価いただいている施工管理能力をさらに深化させるため、ICT技術の活用など生産性向上の取り組みを積極的に推進しています。世代間の技術承継や技能労働者不足といった業界課題に真正面から向き合い、施工管理能力を当社の揺るぎない強みとして磨き続けます。

### ■ ステークホルダーと共に成長し、信頼される企業へ

株主、取引先、協力会社、地域社会、そして社員と共に成長し、内外から信頼される企業を目指します。特に企業と社員の関係においては、エンゲージメント向上や地域社会への帰属意識を高め、自主性を持って挑戦できる環境づくりを進めてまいります。

## 【サステナブル社会の実現に向けて】

私たちは、企業活動を通じて、環境を損なうことなく資源を大切に使い、未来の世代が豊かで平和に暮らし続けられる社会の実現を本気で目指しています。

私たちの事業は、自然災害から暮らしを守るインフラ整備や、厳しい気候から人々を守る住宅整備など、人々の生活の根幹を支えるものです。だからこそ私たちは、「ものづくり」のすべての過程において、環境への責任から目を背けることは決してありません。

私たちは2021年、温室効果ガス排出量を2030年度までに42%削減(2021年度比)する目標を掲げ、SBT認定を取得しました。これは単なる目標ではなく、私たちの強い決意の表れです。脱炭素社会の実現に向け、一つひとつの取り組みを着実に積み重ねています。



さらに私たちは、工事の計画段階から廃棄物の削減、騒音・振動対策、CO<sub>2</sub>排出抑制、希少動植物の保護などを織り込み、環境課題を避けるのではなく、真正面から向き合い続けています。

また私たちは、「働きやすさ」と「働きがい」を両立させる企業でありたいと考えています。多様性を尊重し、誰一人取り残さない職場づくりを実現するため、制度の見直しを継続し、すべての社員が安心して力を発揮できる環境を整えています。

そして私たちは、短期的な利益にとどまらず、長期的な視点で社会とともに成長し続ける企業でありたいと強く願っています。

## 【「人財」に込めた思い】

日本全体で少子高齢化が進む中、建設業界の担い手不足は深刻さを増しています。しかし、この状況は私たちに一つの真実を突きつけています。「人こそが、企業の未来をつくる」という揺るぎない事実です。

だからこそ、森組は「人材」を「材料」ではなく「価値ある財産」として捉え、「人財」と表記しています。これは単なる言葉の置き換えではありません。社員一人ひとりの成長こそが、森組の未来を切り拓く原動力であるという、強い信念の表れです。

良いモノを作ろうとする技術者、お客様に喜んでほしい営業、それらの活動を支える管理部門。どの役割も、森組にとって欠かすことのできない存在です。その一人ひとりが、自らの仕事に誇りを持ち、挑戦し、成長していける環境をつくること。それが、私たち経営陣の最も重要な使命だと考えています。私たちは、人財を企業成長の源泉と捉え、持続可能な社会を支える人財、そして未来を担う人財の育成に本気で取り組んでいます。

さらに私たちは、すべての人が生涯にわたり学び続けられる社会の実現を願い、教育・文化・芸術・スポーツといった分野において、幼児から高齢者まで幅広い世代への支援活動を積極的に展開していきます。

## 【「森」の思い—— みんなの想いを「かたち」に】

森組という社名には、「森(Forest)」のように生命を育み、未来を支え続ける存在でありたいという願いも込められています。森は、良質な水と新鮮な空気を生み出し、あらゆる生命を支え続けます。私たちもまた、社会の基盤を支え、人々の暮らしを守り、未来を育む企業でありたいと強く願っています。

「快適に暮らしたい」「安心して過ごしたい」「大切な人と幸せな毎日を送りたい」そんな誰もが抱く願いを「かたち」にすること。それこそが、森組の存在意義であり、誇りです。

私たちは、これまでの127年間、数え切れない想いを「かたち」にしてきました。そしてこれからも、その歩みを止めることはありません。お客様のために、地域のために、未来のために。森組は、想いを「かたち」にし続ける企業であり続けます。



# Action

健全な経営

01 技術が信頼を生み、  
堅実な経営へと継承される



JOY & JOY 信頼を喜びに

## 100年の後も、変わらないこと。 この100年、変えてきたこと。

信頼されることは、何よりの喜びです。

新しい時代に合わせて刷新してきた技術や理論、合理性の追求。

社会のニーズに応じて創造してきた居住空間や都市空間。

自由自在に変化を遂げたもろもろの一方で、草創期より変わることのない、堅実経営の理念があります。

誠実に、真摯に、着実に…ちょっと硬いこの姿勢こそが

森組が信頼され続ける由縁です。

国道429号 榎峠バイパス 榎峠トンネル(仮称)建設工事(兵庫県)



### 経営理念

## 最高の品質と最良のサービスで、 お客様の感動を

私たちは、持てる技術・業務に常に磨きをかけ、お客様の要望に的確にお応えするよう歩み続けます。そしてお客様が、私たちの提供するモノ、サービスにこの上ない満足をお感じになり喜んでいただけることを、私たちの最大の喜び・明日への糧とし、さらにこれらの行為を通じて社会に貢献する企業であることを目指します。

### コーポレートスローガン



### 経営方針

1. 将来を見据えた人財育成
2. たゆまぬ努力による品質の保持・管理
3. 全社を挙げての事故・災害の撲滅
4. 適切なコスト、適正な価格の追求
5. 遵守事項の厳格運用
6. 地球環境との共存共生

### 行動規範

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1. Change      | 守旧を打破する変革邁進  |
| 2. Create      | 智慧を絞った改善提案   |
| 3. Challenge   | 視野を広げて積極挑戦   |
| 4. Communicate | 内外も縦横斜めも意志疎通 |
| 5. Speed       | 待ったなしでの迅速行動  |

## 安全と信頼が何より優先される企業

### 具体的な取り組み

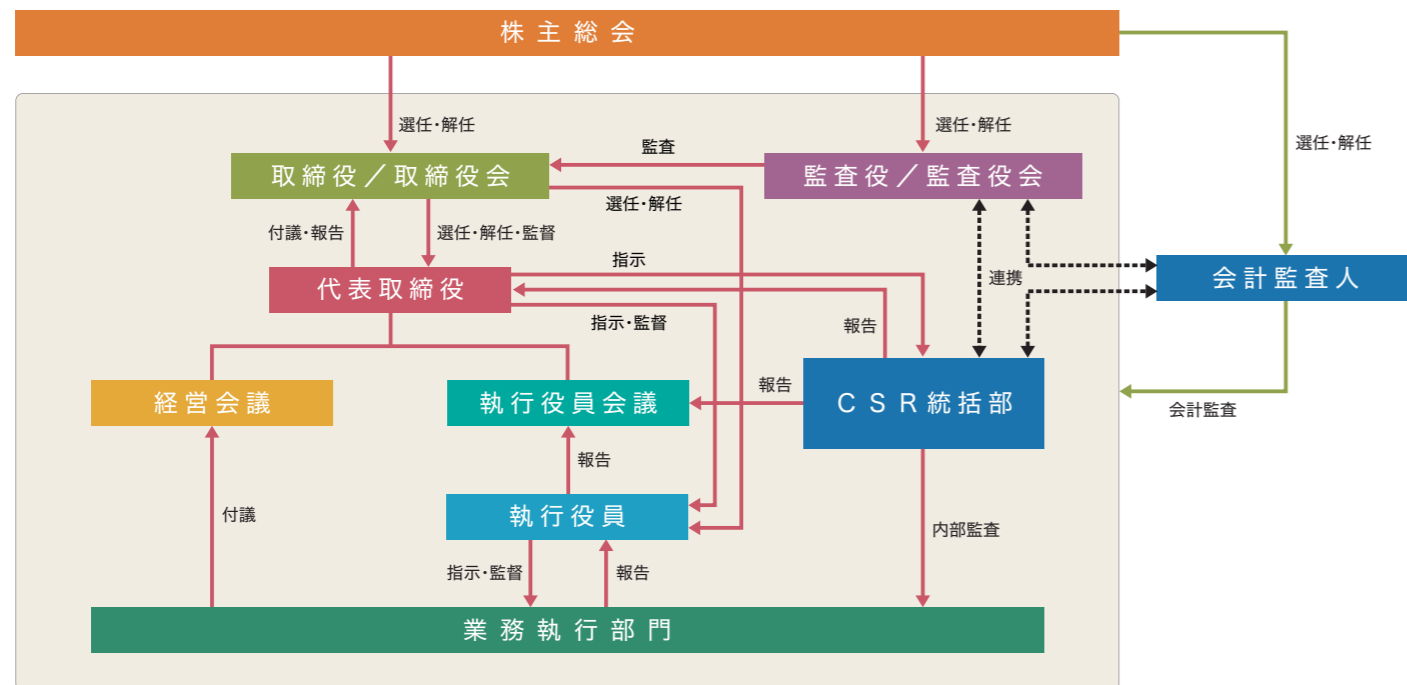
- #### 1 コーポレート・ガバナンス

当社は、企業の社会的責任を果たすとともに、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のために、経営の効率性を高めながら公正性、透明性を確保してまいります。また、ステークホルダーとの適切な関係を保ちながら、最適なコーポレート・ガバナンスの構築に努めてまいります。
- #### 2 コーポレート・ガバナンス体制

取締役会は、7名の取締役(うち、社外取締役2名)で構成されており、毎月1回及び定時株主総会終了後直ちに開催することにしており、経営に関する重要な意思決定及び業務執行報告を行っています。  
また、経営会議を毎月1回開催し、取締役会へ上程すべき事項ならびに社長決裁事項のうち事前に社長より諮問があった事項について審議しています。  
さらに、執行役員会議を毎月1回開催し、業務執行に関する報告及び協議を行っています。同会議では内部監査部門から内部監査報告が行われ、意見交換も行われています。
- #### 3 内部統制システム

取締役の業務の執行が法令及び定款に適合すること、ならびに業務の効率性の確保及びリスクの管理に努め、財務報告の信頼性を確保するとともに、社会経済情勢その他環境の変化に対応するために内部統制システムを構築しています。

### コーポレート・ガバナンス体系図



森組では、取締役会決議により「内部統制システム整備に関する基本方針」を定めており、この基本方針に基づく内部統制システムを継続的に改善し、実効性のある内部統制システムの整備・運用に努めています。

### 内部統制システム整備に関する基本方針

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合すること、ならびに業務の効率性の確保及びリスクの管理に努め、社会経済情勢、その他環境の変化に対応するため、内部監査部門を設置し、内部監査を含め内部統制システムの検証と評価を行います。

### 具体的体制の整備

#### 1. 内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

- ##### 1 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

  - コンプライアンス研修の実施
  - 内部通報制度の制定
  - コンプライアンス経営を脅かす重大事象発生時の検討委員会の設置
  - 社長直轄の内部監査部門(CSR統括部)の設置と内部監査の実施
- ##### 2 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

  - 文書の保存・管理に関する規程に従う適切な保存と管理
- ##### 3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

  - リスクの想定・分析と不測の事態発生時の緊急連絡体制の整備
  - 重大リスク発生時に損害の最小化を図る「危機管理委員会」の設置
- ##### 4 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

  - 執行役員制度を導入し、経営監督機能と業務執行機能との分離による経営体制を確立
  - 重要な業務執行は経営会議の審議を経て取締役会で決定
  - 権限と責任の所在と執行手続の詳細を定め、重要な業務執行は取締役会に報告
  - 業務のIT化を推進し、その進捗状況等の内部監査の実施
- ##### 5 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項及びその使用人の取締役からの独立性の確保に関する事項
- ##### 6 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制、その他監査役への報告に関する体制

  - 監査役出席の取締役会において重要事項の報告を行い、取締役と監査役の意見交換会を別途開催
- ##### 7 監査役の職務の執行について生ずる費用の前払または償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用または債務の処理に係る方針に関する事項
- ##### 8 財務報告の信頼性を確保するための体制

  - 取締役会は、財務報告とその内部統制に関し、代表取締役社長を適切に監督
  - 代表取締役社長は、本基本方針に基づき、財務報告とその内部統制の構築を行い、その整備・運用を評価

#### 2. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況

反社会的勢力への対応の徹底、かつコンプライアンスの遵守は、適正な事業活動を継続するうえにおいて不可欠であるとし、反社会的勢力への対応について倫理規則に定め、継続的なコンプライアンス教育を通して、全役員への徹底を図っています。

内部統制システム強化への取り組み

## 信頼される企業であるために、 まず私たちがやらなければならないこと

森組は誠実な心と思いやりの気持ちが信頼に繋がるのだと考えています。そのために私たちがやらなければならないことを従業員一人ひとりが考えて行動します。森組は社会の一員として、法令及び定款、規程、企業倫理等に背くことのないコンプライアンス経営を徹底して推し進めます。

### 具体的な取り組み

#### 1 推進組織 ~CSR統括部~

森組は企業としての社会的責任を果たし、より豊かな社会を次世代の人々に継続して引き継ぐサステナビリティを目指すためにCSR統括部を設置しています。CSR統括部では文字通りの役割のほかに、コンプライアンスを推進し、従業員への意識づけはもちろんのこと、各部署の責任者や役員員に対しての指導や教育にも重要な役割を担います。

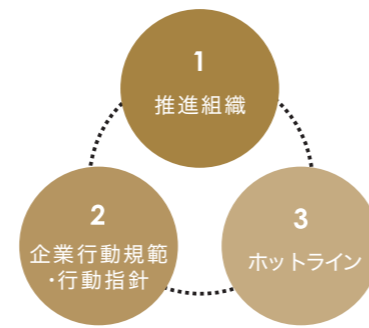
#### 2 企業行動規範・行動指針

ステークホルダーの皆さまの信頼を得るために従業員全員が守っています。また、役職員を対象にしたコンプライアンス研修も実施し、行動規範・行動指針の実践を指導しています。

#### 3 ホットライン ~相談窓口を設置~

内部通報(相談)窓口を設置し、従業員からの業務上の相談を受けつけて迅速に対応する体制を整えています。従業員の日常業務の中で組織的、または個人による法令等違反行為・反倫理行為(社内規程・ルールを含む)が行われた場合、またはその恐れがある場合に通常の業務ラインとは別に通報・相談することができる窓口です。窓口には社内通報・相談窓口と社外通報・相談窓口を設け、通報しやすい環境を充実させています。

#### 推進のための基本体制



### 情報管理への取り組み

#### 情報管理への取り組み

- 個人情報取扱規程を制定
- 特定個人情報取扱規程を制定
- 電子情報セキュリティ啓蒙活動の実施
- 電子情報セキュリティ管理規程の制定と定期的な見直し

#### 個人情報の保護

森組では個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定めウェブサイトに掲示し、個人情報の取得及び森組が有する情報の管理や取り扱いについて、管理規程を定めて個人情報の保護に取り組んでいます。

#### 電子情報セキュリティ

インターネットや超小型記録媒体など、昨今の電子情報伝達ツールの普及に伴い、企業の管理する電子情報が漏洩・盗難されるという事件が多発しています。森組では、イントラネット等を利用して電子情報の取り扱いや漏洩・改ざん防止について定期的に啓蒙活動を行っています。また、定期的に「電子情報セキュリティ管理規程」を見直し、高いセキュリティレベルの維持に努めています。

## 緊急事態に対応する体制の構築が 森組が果たすべき社会的責任です。

森組の企業活動の中でお客さまに提供する「最高の品質と最良のサービス」をとりまく環境は、常にあらゆる緊急事態が発生するリスクをはらんでいます。ひとたび大きな緊急事態が発生すれば会社経営を圧迫し、存続の危機に陥るばかりではなく、社会に極めて重大な影響を及ぼす可能性があります。森組はこの緊急事態に対応する体制を整え、速やかに対処できる仕組み作りを進めています。また、大規模災害等発生時に備え、BCP「事業継続計画」を策定しています。

### 緊急事態に対する備え

#### 1時間ルール

普段より緊急連絡体制を確立して事故や災害が発生した場合には、1時間以内に会社のトップまで報告することを義務付けた「1時間ルール」を実行しています。

#### 緊急体制

事故(災害)の程度により、段階的に以下の本部を設置します。

1. 作業所対策本部
2. 緊急対策本部(責任者:事業本部長)
3. 危機管理委員会(責任者:社長)

#### 緊急時に備えた訓練

日ごろより緊急時に備えた訓練を実施しています。

熱中症対応訓練



レスキュー担架

AED取扱い講習



東京本店実施状況

害虫対応訓練



ポイズンリムーバー

#### BCP「事業継続計画」の策定

- 生命の安全確保と安否確認
- 組織体制と指揮命令系統
- 重要拠点の確保
- 重要データのバックアップ
- 本店及び設備の災害被害軽減
- 財務手当
- 緊急資材等の備蓄





# Action

多彩な事業

02



JOY & JOY 人々の笑顔喜びに

## 何よりも上質を重んじる。 社会資本と暮らしを支える。

快適生活や交通・物流などに  
欠かせない都市インフラ整備。  
豊かな都市生活や産業の発展・  
維持に貢献する建築物。  
建築・土木・開発・管理など  
森組が手がける多彩な事業の  
基本にあるのは、  
最高の品質と技術力を  
惜しみなく注ぐ姿勢。  
安全と信頼が見える事業によって  
人々の笑顔は生まれます。  
たくさんの笑顔に出会えることが、  
私たちの喜びです。



アトラス麻布十番(東京都)

## 社会的責任を果たす森組の事業

安全と信頼は1899年の創業から  
一貫して変わらぬ森組の社会的責任です。

森組は建設事業に携わる企業として、社会的責任の重さを日々痛感しています。都市インフラ整備は時として環境問題と密接に関係し、また、暮らしを支える安全という観点において私たちの事業が担う責任も重大です。「人々が安心して生活できる社会を創造する」それが私たちの社会貢献であるという経営理念。この思いを喜びとしながら、同時に社会的責任を果たす企業でなければならないと森組は考えています。

### 建築事業

森組の建築事業の特徴は、多岐にわたる建築物を手掛けていること。  
マンション、駅舎、商業・文化・福祉施設など幅広い分野において、100年を超える年月により培った技術力を発揮しています。



ジオ嵐山(京都府)

### 土木事業

森組は土木事業において、道路や鉄道、トンネル、橋梁など交通や物流に欠かせない都市インフラ整備に数多くの実績を持っています。  
また、災害被災地における堤防・護岸復旧をはじめ、災害に強い国土づくりにも貢献しています。



小石原川ダム付替国道2号トンネル(福岡県)

### リニューアル事業

森組のリニューアルは、既存建物が抱える課題を解決し、時代のニーズに適応した新たな価値を創出します。  
100年以上にわたり培ってきた豊富な実績と経験に基づく確かな提案力と施工技術により、建物の可能性を最大限に引き出し、次の時代へとつなげます。



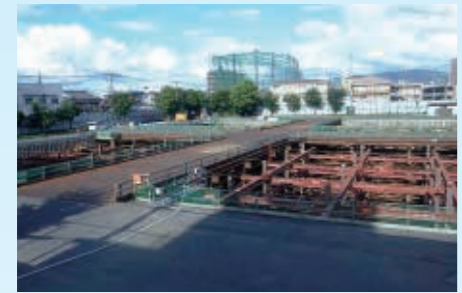
さんきたアモーレ広場(兵庫県)

01  
02  
03  
04  
05  
06  
07

1  
治水・利水



三好池堤体耐震補強工事(愛知県)



一級河川 寝屋川布施公園調整池築造工事(土留工)(大阪府)

3  
道路



新名神高速道路原東工事(大阪府)



阪和自動車道 切目川橋(下部工)工事(和歌山県)

森組は生活・教育・文化・福祉・商業・スポーツ・エネルギー関連など、さまざまなシーンで、人々の暮らしを豊かにする事業を展開しています。

2  
公共施設



(仮称)三宅町複合施設  
新築工事  
(奈良県)

4  
福祉施設



こんごう福祉センター  
障害者支援施設  
新築工事(大阪府)

森組が活躍する  
魅力あるまちづくり

5  
リニューアル



セラージュ大規模修繕工事(大阪府)

HF梅田レジデンスTOWER外壁  
(全面)リニューアル工事(大阪府)

7  
商業施設・工場



(仮称)千葉第一工場建替工事(千葉県)

6  
住宅施設



アトラス亀戸レジデンス  
(東京都)

プラウド八幡山(東京都)

8  
トンネル



国道429号 榎峠バイパス  
榎峠トンネル(仮称)  
建設工事  
(兵庫県)





# Action

高い品質

03



JOY & JOY 品質を喜びに

## 信頼に、最高の品質で応える。 それが、私たちの誇り。

日々進化してゆくテクノロジーに、最高の品質と高度な技術に支えられた専門性で対応します。

道路、下水道、教育・福祉施設、商業施設、マンションなど私たちが手がけるのは、何よりも安全性が問われる建造物。

誠実・堅実・真面目をモットーに、安心の社会と暮らしをお届けできるのは、大きな喜びです。



ヴェレーナ葛飾立石  
(東京都)

## 確かな技術と品質

### 森組が目指すのは最高の品質と最良のサービス！

森組の品質方針は経営理念そのものです。私たちは経営理念を具現化するため、お客さまのご要望にお応えできる品質マネジメントシステムの確実な実践とその継続的改善に努めています。創業以来126年にわたる技術の蓄積と経験に裏付けされた豊かな提案力と確かな施工力を結集してお客さまのご満足を実現します。

経営理念
「最高の品質と最良のサービスで、お客様の感動を」 私たちは、持てる技術・業務に常に磨きをかけ、お客様の要望に的確にお応えするよう歩み続けます。 そしてお客様が、私たちの提供するモノ、サービスにこの上ない満足をお感じになり喜んでいただけることを、私たちの最大の喜び・明日への糧とし、さらにこれらの行為を通じて社会に貢献する企業であることを目指します。

品質方針
1. 持続的発展のツールとして品質マネジメントシステムを運用します。 2. 品質不具合を予防し、品質事故の撲滅を図ります。 3. 是正することに躊躇せず、常に改善を図ります。 4. 総合力を向上させるため、当社全役職員を教育し、スキルアップを図ります。

### ISO 9001 の取得

品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001:2015を認証取得し、土木構造物及び建築物の設計、施工及び点検サービスなど全社で積極的な改善活動に取り組んでいます。



▲登録証

### 2025年度品質目標の取組状況

#### 品質目標の取組状況

森組では土木事業本部・建築事業本部それぞれが、工事の優れた完成度や顧客満足度についての目標値を定めて品質向上に努めています。

#### 具体的な品質目標

- 品質事故の撲滅
- 情報端末の有効活用
- 技術提案の実施
- 顧客満足度の高評価
- 技術社員の育成
- 業務マニュアル・手順書作成

### 優良工事の表彰

建築・土木工事において完成度の高さを評価され、表彰状を頂きました。



(仮称)舞洲東高架橋架設工事



(仮称)浪速区稻荷一丁目計画新築工事



R4横環南栄IC・JCT下部その1工事



葛飾区立石二丁目計画新築工事

※この他にも数多くの表彰状や感謝状を頂いています。

### 新工法の紹介 アーバンリング工法を用いた混合構造基礎「アーバンファンデーション工法」

アーバンファンデーション工法は、当社が施工した湊川付近鋼製橋脚等大規模更新工事において、既存のアーバンリング工法を用いて橋脚基礎での実験及び改良を行い施工したもので、これらの実験結果を基に、一般財団法人国土技術研究センター(JICE)に建設技術審査を依頼し、6ヵ月間の技術審査を経て合格しました。【技審証第57号】

アーバンファンデーション工法の特徴
アーバンファンデーション工法は、狭隘地や上空制限のある現場でも、柱状体基礎を短期間で構築することが可能となります。

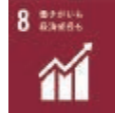
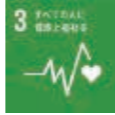




# Action

確かな安全

04



JOY & JOY 安心を喜びに

## 高い安全意識で守られた環境。 それを、ごく当たり前として。

私たちのすべての現場で、安全衛生目標が厳守されています。  
森組が取り組む労働安全衛生マネジメントシステムは、  
働く立場の人間はもちろん、周辺住民の皆さまや  
たくさんのステークホルダーの皆さまに  
安心と感動、喜びを実感していただく必要不可欠の要素。  
安全対策の確立と実施は、大きな信頼と理解に繋がります。

大阪モノレール 支柱建設工事(三島工区その1)(大阪府)



## 喜びと信頼を生む安全

### 2026年度 安全衛生方針

私たち森組は、体系的・組織的に実施する労働安全衛生マネジメントシステムを安全衛生管理の基本とし、『前提安全』を企業風土として定着させるとともに、働く人々が安心できる安全衛生環境の向上と整備に努め、社会から信頼と共感をもって受け入れられる企業を目指します。

スローガン

- ① 『安全』はすべての作業の前提、「より安全に」の推進
- ② 三大災害絶滅を基にあらゆる災害絶滅のための作業手順の確立と遵守
- ③ 「ヒューマンエラー」の防止・低減
- ④ 災害0から危険0へのリスクアセスメント
- ⑤ 新規入場者に対する現場特性・ルールへの周知
- ⑥ 高めよう！ ころとからだの健康づくり
- ⑦ 進めよう！ みんないきいき快適職場

### 労働安全衛生マネジメントシステムへの取り組み (ISO45001:2018)

- 1 労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、システムが円滑に運用されるよう基本的事項を具体的にまとめて全従業員に周知しています。
- 2 システムの運用にあたっては方針・目標を定め「リスクアセスメント」を基本に安全衛生管理計画を策定し、運用しています。  
※リスクアセスメントとは・・・安全を妨げる要因を特定し、それらを分析して評価すること
- 3 問題点の把握・是正処置を行い、継続的な改善を実施します。
- 4 労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるISO45001:2018の認証を取得し、安全衛生方針の定めのもと全社をあげて労働安全衛生活動を推進しています。

### ISO45001の取得



システムの  
メリット

- 1 安全衛生管理・活動の確実性と効率性が図れる。
- 2 安全衛生活動に関する日常の地道な活動が公正に評価されることに繋がる。
- 3 健全性、信頼性のアップに繋がる。
- 4 安全衛生水準の連続的、継続的な向上が図れる。

01  
02  
03  
04  
05  
06  
07

## 安全衛生活動の取り組み



当社独自の安全看板シートの掲示



安全帯試行と平均台による健康チェック



バックホウのシートベルトにマーカー装着

### 『見える化の実施』

大阪労働局・各労働基準監督署で推進している「安全見える化運動」を、当社も積極的に取り入れ、当社独自の「見える化シート」を製作し、各作業所において労働災害防止活動の一環として取り組んでいます。

### 『安全帯試行と平均台による健康チェック』

現場において安全帯を使用する習慣をつけるため、朝礼後、安全帯の試行をするともに、作業員の体調管理の一環として、各作業所に平均台を設け、平均台を渡り、当日の体調確認を行っています。

### 『シートベルトにマーカー装着』

万が一のバックホウ転倒災害に備え、運転者のシートベルト使用を徹底するため、第三者が確認しやすいマーカーを装着することにより、運転者が見られている意識を持つことによるシートベルト使用の促進を図っています。

## 協力会社との連携(MOST会活動)



第47回労働災害防止推進大会(大阪府)



第44回労働災害防止推進大会(東京都)



大阪・東京合同安全パトロール(阪急阪神不池田新築工事)

## MOST会各部署の活動



建築部会



材料部会



土木部会

### MOST会とは

森組と協力関係にある企業の皆さまと、双方の発展に寄与することを目的とし、環境・安全活動や技術力の向上に向けての諸活動を行っている会

## 経営層パトロール

経営層が参加し、年間3回(安全週間・衛生週間・年末年始)強化パトロールを実施しています。森組・協力会社の経営層が事故災害撲滅のため前提安全のスローガンのもと現場巡回を実施、指示指導を行っています。



安全週間 経営層パトロール状況



衛生週間 経営層パトロール状況



年末年始 経営層パトロール状況



年末年始 経営層パトロール状況

## けんせつ小町パトロール

(社)日本建設業連合会が推進している「けんせつ小町」を当社も積極的に取り入れ、女性職員を含む店社中心のメンバーで衛生パトロールを実施し、女性が働きやすい環境づくりを目指しています。



阪急阪神不池田新築工事



豊能廃棄物施設設置工事



# Action

守りたい環境

05



JOY & JOY 自然保護を喜びに

## 地球環境に配慮しながら、自然と共によりよく生きる。

美しい風景や大空、澄んだ水をいつまでも残したい。

誰もが願う中で、いま地球の症状は深刻化するばかり。

私たちにできることは、限られた資源を大切に有効に使うこと。

そして次世代にツケを残さない、持続可能な社会を目指して

新しい視点で創意工夫をすることです。

森組は地球環境との共存共生をキーワードに活動しています。

## 限りある資源と共生するエコプロジェクト

### 自然に感謝する気持ちを大切に…

森組は「地球環境との共存共生」を環境方針のテーマに据え、建設事業を営む私たちにこそ発揮できる地球環境への貢献に日々挑戦し続けています。

#### 環境方針

森組は、社会的責任を果たすべく、以下の方針を定め関係者に周知します。

[1]環境負荷を低減するために環境マネジメントシステムを運用し、継続的な改善を図ります。

[2]環境に関する法令・協定を遵守し、必要に応じて自主基準を策定し実行します。

[3]「環境事故」のリスクを排除・低減します。

[4]環境負荷を低減するために以下の環境目的に取り組みます。

- 建設廃棄物の削減とリサイクルに配慮した設計・施工
- 持続可能な社会の実現、省エネルギーを配慮した生産活動
- 周辺環境及び自然環境に配慮した丁寧な施工
- 気象変動の抑制に向けた温室効果ガスの排出量削減(2030年度に2021年度比42%の削減)

#### ISO14001の取得

環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001:2015を認証取得し、「環境方針」の定めのもと部門単位で環境目標を達成し、全社をあげて環境保全活動を推進しています。



#### 2025年度 環境目標の取組状況

##### 環境目標の取組状況

森組では、土木工事・建築工事・リニューアル工事のそれぞれで法規制等を遵守し、資源の有効利用、省エネ活動、環境汚染の予防に努める活動を実施しています。

##### 具体的な環境目標

- 混合廃棄物の削減
- リサイクルの徹底
- 環境事故の発生ゼロ
- 環境配慮の工事計画
- 建築物のエネルギー消費性能向上

#### 電子マニフェスト普及率99.0%達成

当社は、2012年度から電子マニフェストの取り組みをスタートしました。導入から14年目の2025年度は、全マニフェストに対する電子マニフェストの普及率は99.0%を達成しました。電子マニフェスト化は、廃棄物処理業務の負担を軽減するだけでなく、インターネット上で廃棄物の処理状況が確認できるなどの「見える化」が図れるほか、処理途中で異常事態が発生した時の注意喚起機能を持っているなど、当社のCSR経営に欠かすことのできない優れたシステムといえるでしょう。



01  
02  
03  
04  
05  
06  
07



# Action

## 望まれる社会貢献 06



JOY & JOY 喜びを行動に

# 人や地域とつながって、 広く貢献できるという喜び。

森組が、長きにわたって歩むことができた感謝の思いは、  
地域社会に還元することで喜びに変わります。

地元の皆さまに安全・安心を直接確かめていただき、  
子どもたちの好奇心や学ぶ気持ちを育てる現場見学会、  
災害発生時に迅速対応するための緊急資材や機材配備など、  
地域社会の安心や快適生活の一助になるよう努めています。

### 国道429号榎峠バイパス榎峠トンネル(仮称)建設工事(兵庫県)

令和7年6月8日に、榎峠トンネルの貫通式が行われました。当日は、発注者様をはじめ、施工業者および関係の皆様、近隣住民の方々など、総勢220名のご参列を賜り、式典は盛大に執り行われました。



## 災害復旧への貢献

### 災害復旧

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震、東日本大震災などの災害復旧にも森組は貢献しています。東北地方の震災復興については、現在もお工事は続いています。森組のコーポレートスローガンにもある「Joy」を再び地域の方々に感じていただけるよう、社員一同、心からの想いを持って現場にあたっています。



乙石川上流砂防堰堤工事(福岡県)



### 緊急資材の配備

森組では災害発生時の初期活動に迅速に対応するため、また環境破壊などの拡大を未然に防ぐために、緊急資材を13ヶ所の地区に配備しています。この緊急資材は、地域住民・自治体等の緊急要請にも応えることができる体制を整えています。

- 東京都三鷹市
- 東京都羽村市
- 茨城県那珂郡
- 大阪府東大阪市
- 大阪市平野区
- 大阪市東淀川区
- 大阪府豊能郡
- 兵庫県加東市
- 兵庫県神戸市
- 奈良県葛城市
- 滋賀県大津市
- 島根県安来市
- 佐賀県伊万里市



全景



内部

## 太陽光発電を利用した現場の脱炭素の取り組み

当社は、カーボンニュートラルを実現するため、中小企業版SBTの認証を所得しています。

その取り組みの一つとして、太陽光発電を利用した現場の事例を紹介します。

はじめに、【国道429号 榎峠バイパス 榎峠トンネル建設工事】です。当現場では、現場詰所にソーラーパネルを設置して、LED照明等の電力の一部に太陽光パネルによる再生可能エネルギーを使用し、CO<sub>2</sub>排出の削減に取り組んでいます。

次に、【栗東水口道路上砥山切土(4期)工事】のソーラーハウスを紹介いたします。

こちらは太陽光エネルギーでCO<sub>2</sub>は発生せず、環境に優しいエコロジーなシステムハウスです。商用電源・発電機不要なため、迅速にハウスを設置でき、すぐに使用できるメリットもあります。

ハウスには、エアコンが完備されているほか、Wi-Fiも利用可能です。



現場見学会・地域社会への貢献

作業所ではいつでも、  
人々の心に残る仕事を心がけています。

**Report**

**安来道路安来西工事**

一般社団法人 島根県建設業協会による「松江農林高校、松江工業高校の生徒向け現場見学会」が開催されました。




作業所では  
地域住民の方々と  
ふれあいを大切にします。

**Report**

**御前山ビオトープ育成活動**

御前山ダム環境センターとNPO田園21関東支部主催による、御前山ダム周辺環境整備・育成作業に参加しました。



**Report**

**巨椋池クリーン大作戦2025**

NPO美しい田園21主催による、巨椋池干拓地の幹線排水路内の草取り・水路周辺の清掃活動に参加しました。



森組は持続可能な開発目標(SDGs)を推進しています。

森組は、「最高の品質と最良のサービスで、お客様の感動を」を経営理念に、お客様の満足・喜びを私たちの最大の喜び・明日への糧とし、社会に貢献する企業を目指しております。SDGsを始めとする社会課題の解決について、事業活動を通じて、皆様と共に貢献していきたいと考えております。

**環境**

**4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル活動の推進)**

- 工事現場での廃棄物の分別、減量化などの活動
- リサイクル寄付

**脱炭素・カーボンニュートラルの推進**

- 温室効果ガスの排出量削減活動



**社会**

**従業員エンゲージメントの向上**

- 働き方改革の推進(現場での4週8休)
- 社員の自主性を重んじ「働きがい」を支援

**人財育成・担い手の確保**


- 社内教育制度の整備・運用
- 学生向けインターンシップの実施
- 育休の促進(くるみん認定)

**施工管理能力の強化と品質の向上**

- ICT・AI技術の活用

**社会貢献活動**

- 寄付活動
- 奨学金財源への貢献活動




**ガバナンス**

**適切な企業ガバナンスの整備と運用**

- 持続可能な事業運営のための内部統制の強化

**コンプライアンスの徹底**

- 法令と社会規範の遵守



**災害復旧工事、防災対策工事への取り組み**

災害復旧工事、防災対策工事に積極的に取り組み、環境に配慮した安心安全に暮らせる住みよい街づくりを目指します。



**ESG投資**

当社は、地域・社会や環境との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点から、ESG領域における投融資を行っています。

- 独立行政法人日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資

本債券の調達資金は、第二種奨学金(利息を付して貸与を行う奨学金)に充当される予定です。

**桃山学院大学 工学部と産学連携**

- PBL実践演習(課題解決型学習)を通して、学生の皆さんと一緒に「リアルな課題」に挑戦していきます。



**地球環境との共存共生**

温室効果ガスの排出量削減活動

2021年度のScope1とScope2における温室効果ガス(GHG)排出量に対し、2030年度には42%削減を目指します。



その他にも当社は幅広くSDGs活動に取り組んでまいります。



# Action

## 責任ある社員育成 07



JOY & JOY 働くことを喜びに

# 森組の人財は 信頼と安全に繋がる財産です。

歴史ある企業として、私たち森組の人財育成に対する姿勢は大きな資産であると自負しています。  
社員が自由に発言でき、個人の希望が尊重される環境を整え、一人ひとりが生き生きと活躍できる企業であるように取り組みを進めています。

## 森組の人財育成に関する取り組み

### 社員教育基本方針

森組は社員の自主性を重視し、意欲を持って、自らのキャリア形成に取り組めるような教育制度を目指しています。また、社員が安定的にパフォーマンスを発揮するためには心身の健康を自ら保つ力を獲得する必要があると考えています。この考えを基に社員教育基本方針を策定しています。

- 各職位に求められる知識・ビジネススキルを適切なタイミングで習得・強化する。**  
必要となる知識やスキルを適切なタイミングで教育することで、社員が自ら意欲を持って学ぶことに繋げる
- 学習メニューの多様化を図り、「自己キャリア形成」および「自己研鑽」の機会を提供する。**  
希望者を対象とした学習メニューを準備することで、社員が将来のキャリアに必要なものを自ら考え、選択し、学ぶ機会を提供する
- 心と体の健康を維持し、安定したパフォーマンスが発揮できるようセルフマネジメント力を養成する。**  
様々なストレス要因にしなやかに対応する術を身につけることで、心身を健康に保ち、パフォーマンスを安定させる
- コンプライアンスに対する意識を向上させるとともに浸透・定着させる。**

### 教育施策

策定された社員教育基本方針に基づいて、教育体系図を作成し、2023年度より運用を開始しています。共通研修は森組の社員として確実に身につけて欲しいスキルを学ぶことができる『必修制』の研修【Standard】と社員が自己のキャリア形成やライフプランの実現のためのスキルを学ぶことができる『選択制』の研修【Self-improvement】で構成されます。これらの研修カリキュラムを時代や環境、社員のニーズの変化に合わせて、常に更新し続けることで、森組は企業と社員が相互成長できる、サステナビリティを重視した教育制度を実現します。

職務区分	階層別研修	職種別研修	資格試験対策	選抜研修	共通研修
役員	新任役員研修				Standard(一般) ※必修制 Self-improvement(自己研鑽) ※選択制
M	M級昇格者研修			エグゼクティブ研修II (役員候補者) エグゼクティブ研修I (幹部候補者)	
L1		施工管理 等実務 研修 安全衛生 研修 管理系 事務職 研修			
L2	L級昇格者研修			技術士	
S1			1級建築 施工管理 技術士 1級土木 施工管理 技術士	2級土木 施工管理 技術士 火災 類似 取扱 責任者 コン クリ ート 技 士	
S2	入社3年目研修 新入社員 フォローアップ 研修 新入社員 研修				

共通研修種別	研修例
Standard(一般)	メンタルヘルス研修、ハラスメント研修、部下指導・育成研修等
Self-improvement(自己研鑽)	コミュニケーション研修、文章力UP研修、マネーリテラシー研修等

### 教育関連制度

目標管理制度	個々の社員が組織の目標や戦略に応じて、目標を設定し、その成果やプロセスを上級が評価し、助言することで社員の成長を促します。森組では、学歴・年齢・勤続年数ではなく、成果やプロセス、能力によって、評価しています。
キャリアプラン制度	社員が自ら希望する職種や部署を申告できる制度です。可能な限り社員の意欲と能力に配慮した適正配置を行うことで社員の自己キャリア形成に繋がると考えています。
技能資格一時金制度	社員の技能資格取得を推奨するために各種技能資格ごとに一時金を支給しています。2025年4月現在で90種類の資格に対して、一時金(最高100万円)が支給されます。社員一人ひとりが専門知識を獲得し、技術力を向上させることが、会社にとって有益であると考えています。

## 森組の採用に関する取り組み

### 採用方針

建設業の人財不足が深刻化する中で、採用活動を最重要課題と捉えています。伝統のある森組が持つ技術の伝承やバランスの良い人員構成のためには、安定した新卒採用活動が欠かせません。さらに応募の機会を広く提供するため、学校等を3年以内に卒業した既卒者の新卒者枠での採用や、キャリア採用にも積極的に取り組んでいます。2023年度からは事務系総合職の新卒者採用も実施しています。また森組は応募者の資質や長所を重視し、基本的人権を尊重した公正な採用活動を行うことで、応募者の精神的負担をできるだけ軽減できるように取り組んでいます。

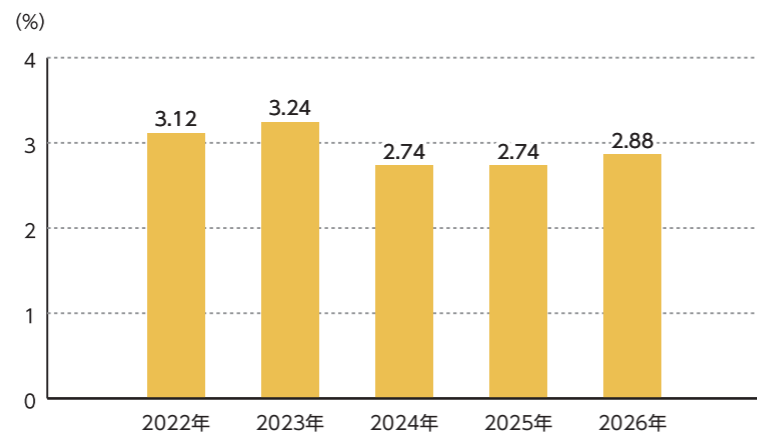
#### 2024～2025年度採用実績と2026年度採用目標

		2024年度	2025年度	2026年度(目標)
新卒採用	技術系	3	13	20
	事務系総合職	2	4	2～4
キャリア採用		11	0	

### 障がい者雇用

森組は障がい者が個々の個性を活かし、健常者と共に働くことを促進していくことが、継続的な雇用につながることを考え、障がい者を積極的に雇用しています。2026年3月時点で障がい者雇用率2.88%と法定雇用率の2.5%を上回っています。

障がい者雇用率



### 再雇用制度

森組では60歳定年を迎える社員の雇用確保措置として、2006年4月より継続再雇用制度を導入しています。少子高齢化が進行する中で、高度な知識やスキル、経験を持つベテラン社員は森組にとって必要不可欠な人財です。本人が希望する場合は、最長65歳に達する事業年度まで再雇用を更新することが可能です。

## 森組の働きがいに関する取り組み

### 働き方改革

森組は社員の労働時間の適正な把握および過重労働による健康被害の徹底防止を推進しています。また法改正により2024年4月以降は時間外労働の上限規制の猶予期間が終了しました。建設業も上限規制が適用されています。森組では労働時間の適正管理を目的として、勤怠管理システムを導入し、2019年からは同システムで承認された労働時間以外のパソコンの使用を制限するパソコン画面ロックシステムも導入いたしました。これらにより社員自らが過重な労働の削減を意識し、計画的かつ効率的な働き方の実現に努めています。また、社員が仕事と育児を両立して活躍できる環境づくりを推進しており、2020年には次世代育成支援対策推進法に基づいて策定した一般事業主行動計画の目標達成が認められ、厚生労働省によるくみん認定を受けました。今後も、森組は社員が職場と家庭生活を両立できる企業として歩み続けます。



### 女性活躍推進

森組では性別に関わりなく能力を発揮できる職場環境を整備し、社員の多様性を尊重した経営を行っています。これまでの取り組みの成果として、女性社員の職域も広がり、3名の女性幹部が在籍しています。また女性技術者の採用にも注力しており、2012年以降、15名の女性が施工管理職として、入社しました。今後も女性の能力発揮とキャリアプランが構築される職場作りを積極的に継続していきます。

### 働きがい改革

森組は社員にとって「大きなやり甲斐」と「誇り」をもって、安心して働ける企業を目指しています。この目標を実現するために、2022年より働きがいWG(ワーキンググループ)が発足し、エンゲージメントの調査や1on1ミーティングを実施し、課題抽出を行っています。そこから得た課題をもとに社員の働きがいを向上させるべく、森組のブランド力の強化、業務効率化や人材育成の更なる推進などの活動を行っています。

### 関連制度

育児休業	最長子が2歳に達するまで、育児休業を取得することができます。(法定は原則1歳に達するまで)
育児短時間勤務	小学校就学前の子どもがいる社員は、所定労働時間を4時間まで30分単位で短縮することができます。(法定は3歳に達するまで、6時間まで短縮)
子どもの看護休暇	小学校3学年までの子どもがいる社員は、有給休暇とは別に子ども一人について年間8日の看護休暇が時間単位で取得できます。(法定は5日)

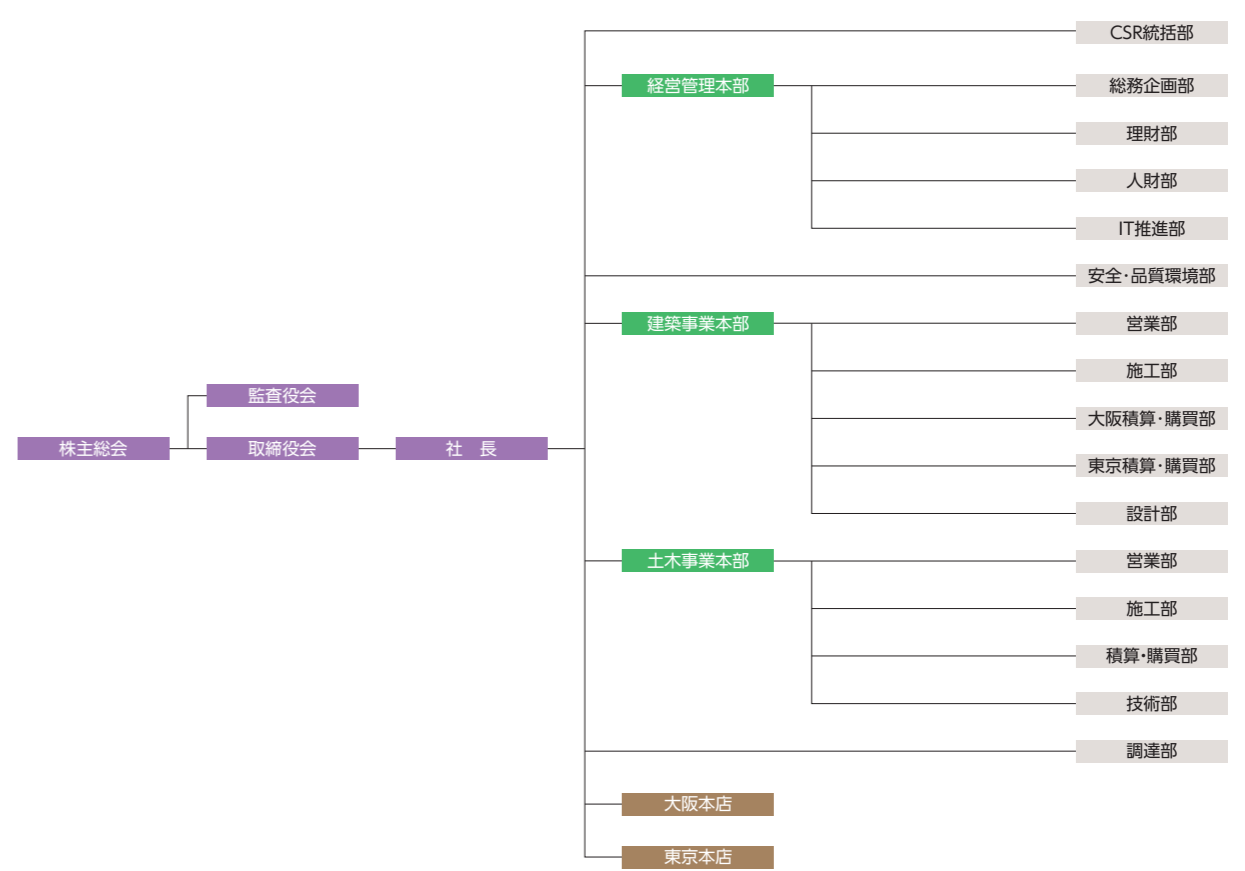
### 健康管理

社員教育基本方針にもあるように、社員の心身の健康は人的資源に頼る森組にとって大きなテーマであると捉えています。年に一度、人間ドックを活用した定期健康診断、およびストレスチェックを実施し、産業医と情報共有し、連携することで、社員の健全な日々を守っています。

## 会社概要

社名	株式会社 森組
英文表示	Mori-Gumi Co.,Ltd.
代表取締役社長	内山 浩二
創業年月日	1899年6月8日
設立年月日	1934年2月3日
資本金	16億4,000万円
営業種目	1) 土木建築その他附帯工事及び浄化槽工事の請負並びに工事の調査、測量、設計、監理 2) 公害防止施設並びに機器の製造、販売 3) 不動産の売買、交換及び賃貸並びにその代理、仲介 4) 公共施設等の維持管理及び運営 5) 建築・土木資機材の売買
従業員数	311名(2026年3月末現在)
営業許可	特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-5)第2404号  一級建築士事務所登録 大阪府知事登録(カ)第2647号 東京都知事登録 第29576号  宅地建物取引業者免許 国土交通大臣免許(13)第2241号

## 組織図



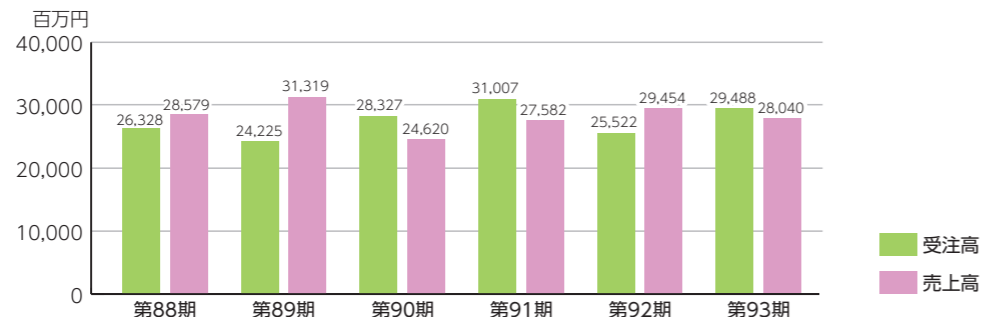
## 主な取引先

官公庁等	民間企業
大阪市	旭化成(株)
大阪府	旭化成不動産レジデンス(株)
(福)大阪府障害者福祉事業団	旭化成ホームズ(株)
(大)大阪公立大学	イズミヤ(株)
大阪広域水道企業団	エイチ・エス化成成品工業(株)
国土交通省	NTT都市開発(株)
国土交通省	大阪空港交通(株)
社会保険診療報酬支払基金	大阪市高速電気軌道(株)
大学共同利用機関法人	大阪神鉄豊中タクシー(株)
高エネルギー加速器研究機構	大阪モノレール(株)
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	大林新星和不動産(株)
東京都	カトリック・カリタス修道会
東京都住宅供給公社	(株)カプコン
(独)都市再生機構	関西電力(株)
豊能郡環境施設組合	関電不動産開発(株)
奈良県葛城市	北大阪急行電鉄(株)
奈良県上牧町	近鉄不動産(株)
奈良県田原本町	京阪電鉄不動産(株)
奈良県三宅町	神戸高速鉄道(株)
奈良市	神戸電鉄(株)
成田国際空港株式会社	コーナン商事(株)
農林水産省	(株)コスモスイニシア
羽曳野市	サムティ(株)
兵庫県	(株)サンケイビル
福岡北九州高速道路公社	(財)自転車駐車場整備センター
法務省	清水総合開発(株)
宮城県	積水ハウス(株)
(独)水資源機構	(宗)創価学会
その他	総合地所(株)
	大栄不動産(株)
	(株)ダイハツメタル
	(株)大和地所
	大和地所レジデンス(株)
	中央ビルト工業(株)
	東急不動産(株)
	(株)東京楽天地
	東宝(株)
	東宝舞台(株)
	東レ建設(株)
	トヨタホーム(株)
	中日本高速道路(株)
	西日本高速道路(株)
	日鉄興和不動産(株)
	能勢電鉄(株)
	野村不動産(株)
	(株)長谷工コーポレーション
	(株)阪急交通社
	阪急電鉄(株)
	阪急バス(株)
	(株)阪急阪神エクスプレス
	(株)阪急阪神百貨店
	阪急阪神ビルマネジメント(株)
	阪急阪神不動産(株)
	阪急阪神リート投資法人
	(株)阪急阪神ホテルズ
	(株)阪急メディアックス
	阪神高速道路(株)
	東日本高速道路(株)
	廣瀬無線電機(株)
	平和不動産(株)
	平和不動産リート投資法人
	(株)万代
	三井物産都市開発(株)
	三井不動産レジデンシャル(株)
	三井不動産レジデンシャルリース(株)
	(学)真面学園
	名鉄不動産(株)
	山中産業(株)
	ユナイテッドエンジニアリング(株)
	(株)ライフコーポレーション
	(株)LIXIL
	(株)ワクタ
	その他

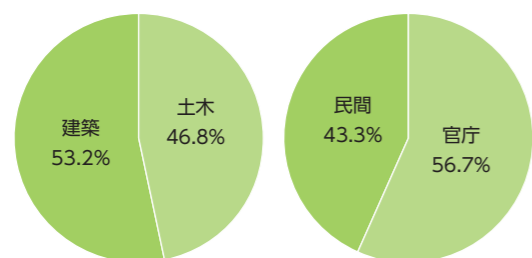
IR情報

第93期(2025年4月1日~2026年3月31日)

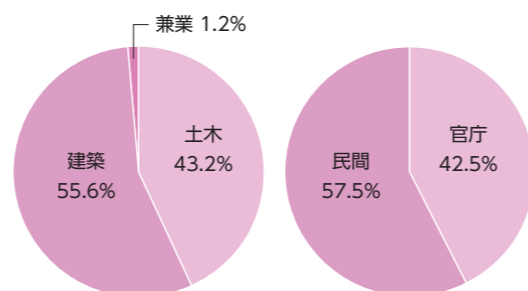
● 受注高・売上高の推移



● 当期の部門別状況(受注高)



● 当期の部門別状況(売上高)



- 1899年 6月 奈良県吉野郡において土木建築請負として創業
- 1931年 5月 国分碎石所開設
- 1934年 2月 個人企業を株式会社組織に改め、資本金50万円をもって(株)森組を設立
- 1949年 4月 生瀬碎石所開設
- 1949年10月 建設業法による建設大臣登録
- 1961年 9月 東京営業所開設(1964年4月支店昇格)
- 1963年 7月 大阪証券取引所市場第二部へ株式上場(2013年7月大証・東証統合により東証二部へ上場)
- 1971年 2月 宅地建物取引業による大阪府知事免許取得(1976年7月建設大臣許可に許可換)
- 1971年11月 採石法による採石業者登録
- 1973年12月 建設業法改正により建設大臣許可を取得
- 1988年 1月 東京本店設置(1996年6月 東京支店併合)
- 1990年12月 阪急電鉄(株)の関連会社となる(第三者割当増資・資本金70億1300万円)
- 1994年 6月 大阪本店設置
- 2004年 8月 16億4000万円に減資
- 2007年 5月 阪急電鉄(株)の関連会社から外れ、(株)長谷工コーポレーションの関連会社となる
- 2013年 7月 東証・大証統合により東京証券取引所市場第二部へ移行
- 2016年 5月 (株)長谷工コーポレーションの関連会社から外れ、旭化成(株)及び旭化成ホームズ(株)の関連会社となる
- 2019年 6月 創業120周年
- 2022年 4月 東証の市場再編にともない、スタンダード市場に上場

沿革

事業所一覧

- 本社** 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17  
TEL:06-6201-2763 FAX:06-6201-2768
- 大阪本店** 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17 M&Mビル4F  
TEL:06-6201-2762 FAX:06-6201-2769
- 東京本店** 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町10-6 フォーリッチビル7F  
TEL:03-3808-2071 FAX:03-3808-2077
- 東北営業所** 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-14-26 保坂ビル3F302号  
TEL:022-722-8552 FAX:022-722-8553
- 横浜営業所** 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘2-17-21 サンビル105号室  
TEL:045-905-2320 FAX:045-902-5506
- 中部営業所** 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-5-28 サウスレジデンス丸の内3B  
TEL:052-955-5031 FAX:052-955-5032
- 京滋営業所** 〒604-0076 京都市中京区東堀川通丸太町下る7-2-12 シャンブル丸太町303号  
TEL:075-257-7440 FAX:075-257-7441
- 奈良営業所** 〒630-8247 奈良市油阪町446-6 第一山口ビル3F  
TEL:0742-20-5131 FAX:0742-20-5132
- 阪神営業所** 〒651-0085 神戸市中央区八幡通1-1-14 IPSX SOUTH12階1204号室  
TEL:078-241-1890 FAX:078-241-1891
- 福岡営業所** 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-10-19 シャンブル博多第2-202号  
TEL:092-477-6711 FAX:092-477-6701
- 社機材センター** 〒673-1462 兵庫県加東市藤田944-214  
TEL:0795-42-8490 FAX:0795-42-8491

ISO取得関係

- 1998年 5月 ISO9002認証 東京土木にて取得
- 1999年12月 ISO9001認証 全社(碎石事業を除く)にて取得
- 2001年11月 ISO14001認証 全社(碎石事業を除く)にて取得
- 2002年11月 ISO9001 2000年版に改定
- 2005年12月 ISO14001 2004年版に改定
- 2010年 5月 ISO9001 2008年版に改定
- 2016年 4月 ISO9001、ISO14001 2015年版に改定
- 2019年12月 ISO45001認証 全社(碎石事業を除く)にて取得

株式会社 森組 <https://www.morigumi.co.jp>

